

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569000701	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	● 解放講座 (総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	読書レポート (30%) 授業レポート (30%) 最終レポート (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業はすべてオンラインで行います。		
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。(オンライン)
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ) (オンライン)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義) (オンライン)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義) (オンライン)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義) (オンライン)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義) (オンライン)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義) (オンライン)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム (オンライン)
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ (オンライン)
第15回	原爆と部落とキリシタン (オンライン)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569000702	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	● 解放講座 (総合科学科目) / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	読書レポート (30%) 授業レポート (30%) 最終レポート (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	授業はすべてオンラインで行います。		
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。(オンライン)
第2回	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ) (オンライン)
第3回	部落問題と人権の今 (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第4回	教科書から土農工商が消えた? (講義) (オンライン)
第5回	アイヌ問題と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第6回	アイヌ問題と人権 (2) (講義) (オンライン)
第7回	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第8回	在日外国人と人権 (2) (講義) (オンライン)
第9回	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第10回	セクシュアルマイノリティと人権 (2) (講義) (オンライン)
第11回	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義) (オンライン)
第12回	ハンセン病と人権 (2) (講義) (オンライン)
第13回	人権問題の解決のためのプログラム (オンライン)
第14回	人権問題の解決のためのワークショップ (オンライン)
第15回	原爆と部落とキリシタン (オンライン)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230569001101	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	● 全学乗船実習(総合科学科目) / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	実習 / Practical Training
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部学生(1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yagi-m▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する時は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	附属練習船長崎丸での航海体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標/Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎の実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前講義(1h)実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義(1.5h)実習の総括、レポート課題等の説明等 () 事前・事後講義(於 文教キャンパス)および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード/Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書/Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・受講定員は40名(希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費(4日分)および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。ただし、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	八木光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス（船内設備、注意事項等の説明） 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集 2 日目 天候・海況により、(1)～(3)のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習（於 東シナ海） (2) 海洋観測、ロープ結索演習、（於 操練が行える湾） (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、（於 位置測定が行える湾） 3 日目 入港、陸上水産施設（水族館等）の見学 4 日目 陸上水産施設（魚市場等）の見学、出港 魚類の加工（干し物等の作成） 5 日目 下船時のガイダンス（予定、注意事項等の説明） 下船 （ ）天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230588007201	科目番号 / Course code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Course title	● ボランティアを通して地域を知る(総合科学科目) / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生、3年生、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeru▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分-12時、13時00分-17時30分/8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	少子・高齢化社会で生きていくために、ライフサイクルにおける課題を理解する。子どもたちの成長過程や親子の絆を学び、また高齢者については、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育むとともに地域課題に対する学びを深める。		
授業到達目標/Course goals	・人とのコミュニケーションにおいて、傾聴できるようになる。(自主的に考え発信する能力、) ・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) (自主的に考え発信する能力、) ・介護している人(介護者)の支援について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) ・子育ての重要性について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) ・ワークライフバランスについて、理解できるようになる。(グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性、) (論理的・批判的に物事を考える能力、)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題(40点)+レポート課題(40点)+グループワークへの貢献度(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。評価は科目責任者(井口)が行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：各講義の資料をweb上に掲載するので、あらかじめ目を通して講義の内容及び流れを把握しておくこと。(2h) 復習：講義のノート及びweb上の資料により復習し、疑問点などをまとめ、フィールドワークについても参加したボランティアの内容についてまとめること。(2h)		

キーワード/Keywords	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する/ Distribute materials as necessary
受講要件（履修条件）/Prerequisites	指定された日時にフィールドワーク（ボランティア）に参加できること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	注釈：フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間とし、計2回分の講義（第8回と第10回）への出席・参加として評価します。なお、3回目～8回目はオンラインを予定しています
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみなさんと、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 理学療法士として地域活動における実務経験 / 要介護者及び認知症の対象者について必要な基本的知識、技術を指導する。 本多直子 / 看護師として大学病院における実務経験 / 子育てにおける子どもの発達について必要な知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回：6月14日 5限目	ボランティア活動について（担当：井口）
2回：6月14日 6限目	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク（担当：井口）
3回：6月21日 5限目	傾聴について : オンラインを予定（担当：井口）
4回：6月21日 6限目	傾聴について : オンラインを予定（担当：井口）
5回：6月28日 5限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ : オンラインを予定（担当：矢野）
6回：6月28日 6限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ : オンラインを予定（担当：矢野）
7回：7月5日 5限目	認知症サポーター養成講座：オンラインを予定（担当：井口）
8回：7月5日 6限目	グループワーク：認知症高齢者に対する支援：オンラインを予定（担当：井口）
9回：7月12日 5限目	フィールドワーク（担当：井口）
10回：7月12日 6限目	フィールドワーク（担当：井口）
11回：7月19日 5限目	こどもの心と身体の発達・発達（担当：本多）
12回：7月19日 6限目	こどもの心と身体の発達・発達（担当：本多）
13回：7月26日 5限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
14回：7月26日 6限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
15回：8月2日 5限目	高齢者に対する支援とボランティア（担当：井口）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230588026401	科目番号 / Course code	05880264
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16631_002		
授業科目名 / Course title	●経験学習実践論(総合科学科目) 1単位科目 / Practical Theory of Experiential Learning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	【授業の概要】 皆さんは高い志を持ち、目標を達成したくて大学に入学されたことと思います。日々、学びを継続することは自身との戦いであり、苦勞なさっている方も多いことでしょう。勉強に限らず、「今日はやろう」「明日こそやろう」と思っているにもかかわらず行動に踏み出せないときがあります。本科目では、たとえば、毎日5分間だけ使って自分ができたことを見つけ、週一回10分間振り返る行動を継続することによって、自ら新しい行動を見出していきます。そしてその行動の中で自分の良さに気づき“ありたい姿”を発見することを目指して学修を進めます。学修するメソッドの各要素は「行動科学」、「認知科学」、「情動コントロール」、「協働学習」の知見に基づいて設計されています。 教室内で受講する対面授業を前提としています。初回は、毎日取り組む課題を確認します。第2回～第4回は、ペアワークを通じて、経験を効果的に学ぶ方法、感情の制御方法、行動変容を定着化させる技術について学びます。その際、コラボレーションツールを使って、教員と学生の間および学生同士で意思疎通を図ります。第5回～第8回は、数名で構成されるグループに分かれて、日々学習してきたことについて情報交換して、グループとしてアピールすることをまとめます。さらに、ワールドカフェを行って他グループとの情報共有に取り組み、その結果を自グループの改善に結びつけます。 【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における選択科目です。		
授業到達目標 / Course goals	以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。 ・自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用できるようになる ・自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用できるようになる ・経験から学び行動分析する思考法として、論理的思考法と批判的思考法を活用できるようになる ・内省から見出した行動計画の実践法として、行動変容技術を活用できるようになる ・自分の軸を見出す技術として、ありたい姿抽出技術を活用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート：15点×5、授業中課題：5点×5の合計100点とし、60点以上を合格とする。ただし、最終レポートを提出しない場合、他課題の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 なお、原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に事前連絡すること。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】永谷研一『できたこと手帳』、クロスメディア・パブリッシング、2017年 ・ISBN：9784295401100 【参考書】永谷研一『月イチ10分でできたことを振り返りなさい』、ダイヤモンド社、2018年 ・ISBN：9784478105221
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	【参考情報】 「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitaikoto.jp/ 【授業の実施方法】 以下の（１）を原則とするが、状況により（２）もしくは（３）とする場合もある。実施方法に変更がある場合は別途指示する。 （１）対面授業（教室で直接対面しての授業） （２）リアルタイムのオンライン授業（Webの会議システムを使用した遠隔での授業） （３）オンデマンド授業（用意された動画や(1)(2)の記録を視聴する授業）
学生へのメッセージ/Message for students	できたことノートのメソッドの体験を通じて、行動科学、認知科学、情動科学が学べるとても有意義な授業となっています。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとも重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
6月14日(水) 3校時	【ガイダンス】 担当：永谷 ・授業の概要 ・授業で利用するコラボレーションツールの環境設定と演習 ・この授業に臨むにあたって
6月21日(水) 3校時	【自分を肯定的に見る効果】 担当：永谷 ・欠けている部分に目がいくのは人間の習性 ・「できたこと」を見つけよう 【「できたこと」を磨こう】 ・ありがたい姿が見つかる「ベストできたこと」！ ・「できたこと」から新たな行動を導く経験学習法とは

7月5日(水) 3校時	【感情をコントロールする】 担当：永谷 ・情動知能 Emotional Intelligence を学ぶ ・クリティカルシンキングと目的思考
7月5日(水) 4校時	【行動変容力を身につける】 担当：永谷 ・できたことメモからできたこと気付き日記へ ・行動を習慣化する7つの技術
7月19日(水) 3校時	【クリティカル・シンキング技術を学ぶ】 担当：永谷 ・できたことを健全に疑ってみる ・創造的な行動変容を導き出す
7月19日(水) 4校時	【ありたい姿発見ワーク】 担当：永谷 ・揺らぎのない自信を獲得するプロセス ・自分のありたい姿を発見する
7月26日(水) 3校時	【経験学習実践論まとめ】 担当：永谷 ・経験学習実践論まとめ ・相互に学び合うフィードバック技術
7月26日(水) 4校時	【さらなる行動実践に向かって】 担当：永谷 ・全体を通じて学んだこと（ワールドカフェ） ・明日からの自分へのエールを（レポート記述）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230590090501	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	●平和講座 (総合科学科目) / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 中田 英樹 / Nakata Hideki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 菅 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 中田 英樹 / Nakata Hideki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 菅 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ytomozawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4階環439		
担当教員TEL/Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずメールでアポイントをお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点60% + レポート40% = 100%のうち、60%以上を合格とする。平常点は毎回異なる講師が講義を行い、その都度レスポンスシートを課す形式で評価する。(期末試験はありません。)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK長崎放送局横の西坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。【4h】		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、構造的暴力、平和、格差、原爆、原発、有事体制、イラク戦争、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。プリント資料の配布、スライド、映像の視聴などを活用して、講義の理解を深める。参考書として、戸田清『人はなぜ戦争をするのか』(法律文化社、2019)、高橋真司・舟越耿一編『ナガサキから平和学する!』(法律文化社、2009)、ヨハン・ガルトゥング・藤田明史編著『ガルトゥング平和学入門』(法律文化社、2003)。関連) 戸田清研究室ホームページ http://todakiyosi.web.fc2.com/		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	とくになし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	【実施方法について】原則対面形式で行うが、一部リアルタイムオンライン形式で実施する回がある。詳しくは初回に説明する。初回がリアルタイムオンライン形式になる場合は、前日までにLACS連絡事項で通知するので確認しておくこと。
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	山川 剛 氏：8 歳で被爆後、小学校教員として勤める。長崎平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会の会員として、1998年以來、被爆体験講和等を行ってきた経験を有する。 森永 玲 氏：長崎新聞社報道部を経て同社取締役。長崎の平和運動に関する取材経験と複数の編著書がある。 西岡 由香 氏：漫画家。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆をテーマにした漫画を数多く執筆している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/12）	イントロダクション（友澤悠季）【対面】
第2回（4/19）	被爆とその後（山川剛）【対面】
第3回（4/26）	山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】
第4回（5/10）	福田須磨子（1922-1974）の生涯（友澤悠季）【対面】
第5回（5/17）	継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】
第6回（5/24）	戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】
第7回（5/31）	戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】
第8回（6/7）	本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】
第9回（6/14）	世界の軍事情勢はいま（篠崎正人）【対面】
第10回（6/21）	ナチス・ドイツのホロコースト（T4作戦）（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】
第11回（6/28）	正当化される暴力はあるのか—ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【対面】
第12回（7/5）	韓国の歴史教育（昔宣希）【対面】
第13回（7/12）	日本への原爆投下と科学者たちの苦悩（冨塚明）【対面】
第14回（7/19）	Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】
第15回（7/27）	カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い【対面】

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230590090502	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	●平和講座 (総合科学科目) / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 中田 英樹 / Nakata Hideki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 菅 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 森永 玲 / Morinaga Ryo, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 中田 英樹 / Nakata Hideki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 菅 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ytomozawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4階環439		
担当教員TEL/Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずメールでアポイントをお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しようと決意」した。1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点60% + レポート40% = 100%のうち、60%以上を合格とする。平常点は毎回異なる講師が講義を行い、その都度レスポンスシートを課す形式で評価する。(期末試験はありません。)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK長崎放送局横の西坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。【4h】		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、構造的暴力、平和、格差、原爆、原発、有事体制、イラク戦争、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。プリント資料の配布、スライド、映像の視聴などを活用して、講義の理解を深める。参考書として、戸田清『人はなぜ戦争をするのか』(法律文化社、2019)、高橋真司・舟越耿一編『ナガサキから平和学する!』(法律文化社、2009)、ヨハン・ガルトゥング・藤田明史編著『ガルトゥング平和学入門』(法律文化社、2003)。 関連) 戸田清研究室ホームページ http://todakiyosi.web.fc2.com/		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	とくになし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	【実施方法について】原則対面形式で行うが、一部リアルタイムオンライン形式で実施する回がある。詳しくは初回に説明する。初回がリアルタイムオンライン形式になる場合は、前日までにLACS連絡事項で通知するので確認しておくこと。
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	川副 忠子 氏：1歳で被爆後、小学校教員として勤める。長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会、原水爆禁止長崎県民会議等での活動経験を有する。 森永 玲 氏：長崎新聞社報道部を経て同社取締役。長崎の平和運動に関する取材経験と複数の編著書がある。 関口 達夫 氏：フリージャーナリスト。元・NBC長崎放送社員として長年、国内・海外を取材し、戦争とその加害・被害に関する報道番組を制作した経験を有する。 西岡 由香 氏：漫画家。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆をテーマにした漫画を数多く執筆している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10/4）	イントロダクション（友澤悠季）【対面】
第2回（10/11）	山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】
第3回（10/18）	被爆と被爆者運動（川副忠子）【対面】
第4回（10/25）	外国人被爆者と岡正治（1918-1994）（関口達夫）【対面】
第5回（11/1）	継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】
第6回（11/8）	戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】
第7回（11/15）	戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】
第8回（11/22）	本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】
第9回（11/29）	日本の軍勢力強化を考える（仮）（関口達夫）【対面】
第10回（12/6）	ナチス・ドイツのホロコースト（T4作戦）（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】
第11回（12/13）	正当化される暴力はあるのか—ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【対面】
第12回（12/20）	韓国の歴史教育（昔宣希）【対面】
第13回（1/10）	日本への原爆投下と科学者たちの苦悩（冨塚明）【対面】
第14回（1/17）	Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】
第15回（1/24）	カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い（下田順子）【対面】

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596000901	科目番号 / Course code	05960009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●キャリア開発 「コミュニケーション概論」(総合科学科目) / Career Development ''Introduction to Communication''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 上田 亜希子 / Ueda Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori, 上田 亜希子 / Ueda Akiko		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	相手とうまくコミュニケーションをとったり、望んだ人間関係を築いたりするためには「コミュニケーション力」が必要です。 この「コミュニケーション力」は、「生まれつきの性格」や「センス」ではありません。訓練で鍛えることができるソーシャルスキルです。 本講義では、心理学の見地から「コミュニケーション論」について学びながら、日常生活での「話す」「聞く」「書く」「交渉する」といったコミュニケーション力、そのために必要な「考える力」をスキルトレーニングやワークショップ形式で実践的に身に付けることを目指します。		
授業到達目標/Course goals	(1) 他者とのコミュニケーション場面において、目的に応じた自分のコミュニケーションスキルについて計画を立てることができるようになる。 (2) 自分の意見や考えをまとめ、わかりやすく論理的に伝えることができるようになる。 (3) 他者を理解し、相手も自分も尊重したコミュニケーションがとれるようになる。 (4) 学んだコミュニケーションスキルを日常生活で実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(35点)+プレゼンテーション課題(20点)+ワーク・レポート課題(40点)+授業貢献度(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やスライドを作成し、L A C S から提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやワークシートなど作成し、L A C S から提出。		
キーワード/Keywords	コミュニケーションスキル、自己表現スキル、スピーチ・プレゼンテーション、キャリア		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料や動画、参考文献などをLACSに掲載。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身についていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	対面において実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	企業が新卒採用選考で重視するポイントは、「コミュニケーション能力」が16年連続で第1位(経団連調査2018)。しかし、ここでの「コミュニケーション能力」は「人前で話すことが得意」「誰とでも仲良くできる」等のことではありません。 学生時代に通用する「コミュ力」と、社会に出てから必要とされる「コミュ力」は別ものなのです。 社会に出てからも通用する本物の「コミュ力」を学生のうちから一早く身につけることで、大学生活をより充実させ、自身の望むキャリアを切り拓いていきましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年を経て現職。在局中から大学院に社会人入学。スピーチ・プレゼンテーション研究を行い、博士号取得。専門は心理学・コミュニケーション論。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月14日（水） オリエンテーション
第2回	6月14日（水） コミュニケーションとは？
第3回	6月21日（水） 話す力
第4回	6月21日（水） 聴く力
第5回	6月28日（水） 伝わるコミュニケーションのコツ
第6回	6月28日（水） しぐさのコミュニケーション ～表情・視線・ジェスチャー
第7回	7月5日（水） 「自分」を伝える自己表現 非常勤講師：上田 亜希子
第8回	7月5日（水） 「自分」を伝える自己表現 非常勤講師：上田 亜希子
第9回	7月12日（水） オンラインでのコミュニケーション
第10回	7月12日（水） オンラインでのコミュニケーション
第11回	7月19日（水） 未来のコミュニケーション
第12回	7月19日（水） 未来のコミュニケーション

第13回	7月26日（水） コミュニケーション・トレーニング ～リーダーシップ
第14回	7月26日（水） コミュニケーション・トレーニング ～説得・交渉
第15回	8月2日（水） まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596001101	科目番号 / Course code	05960011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●キャリア開発 「プレゼンテーション基礎」(総合科学科目) / Career Development ''Presentation Basics''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーションについて講義と演習を行い、効果的なプレゼンテーションを行うための基本的知識を身につける。 スキルトレーニングを行いながら講義内で一つのプレゼンテーションを作り上げることで、実践的なプレゼンテーション技術の修得を目的とする。		
授業到達目標/Course goals	1. プレゼンテーションの基礎的な知識について説明できるようになる。 2. 目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための案を立てることができるようになる。 3. 聴き手を意識したわかりやすい説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 4. 他者のプレゼンテーションを評価することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(40点)+プレゼンテーション課題(40点)+ワーク課題(15点)+授業への取り組み(5点)= 合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h)...パワーポイントで資料や原稿等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートやプレゼンテーション等作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	自己表現、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料配布、参考文献や参考動画をLACSで提示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	土曜・日曜開講の集中講義です。日程確認のうえ受講してください。 5月27日(土) 10時から17時20分 6月3日(土) 10時から17時20分 6月11日(日) 10時から17時20分 7月2日(日) 13時から17時20分	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	対面において実施します。講義の集大成としてのプレゼンテーション大会には、プレゼンターとしての登壇、または審査員としての参加のどちらかを選ぶことが可能。	
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションは、ただ「場数」を踏んだだけでは上手くなりません。 学術的な知識を知った上で行う正しい方法によるトレーニングが必要です。 学生時代はもちろん、社会に出てからも必須であるプレゼンテーションスキルを身につけましょう。 「プレゼンは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「プレゼンなんてしたことない」「緊張して頭が真っ白になる」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにてニュース・報道番組のキャスター歴17年。起業後、政治家・経営者などにスピーチ・プレゼンテーション指導を行う。講演・研修実績多数。 著書に『その話し方では軽すぎます！—エグゼクティブが鍛えている「人前で話す技法」』（すばる舎）『【NHK式+心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法』（ダイヤモンド社）などベストセラー多数。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回 5月27日(土)	オリエンテーション	
第2回 5月27日(土)	プレゼンテーションとは？ プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い	
第3回 5月27日(土)	言語・非言語概論	
第4回 5月27日(土)	プレゼンテーション実践	
第5回 6月3日(土)	言語スキルトレーニング ～話の組み立て方・言葉遣い	
第6回 6月3日(土)	論理的に話す技法	
第7回 6月3日(土)	伝わるプレゼンテーションのコツ	
第8回 6月3日(土)	プレゼンテーション実践	
第9回 6月11日(日)	非言語スキルトレーニング ～表情・ジェスチャートレーニング、ボイトレーニング	
第10回 6月11日(日)	上手いプレゼンテーションとは？	
第11回 6月11日(日)	プレゼンテーション評価の基準	
第12回 6月11日(日)	プレゼンテーション実践	
第13回 7月2日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂	プレゼンターまたは審査員参加
第14回 7月2日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂	プレゼンターまたは審査員参加
第15回 7月2日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂	プレゼンターまたは審査員参加

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596001501	科目番号 / Course code	05960015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●コミュニケーション基礎実践(総合科学科目) / Fundamentals and Practice of Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は「コミュニケーション基礎講座」の選択科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成をめざします。 皆さんは大学や社会で求められるコミュニケーション能力とはどのようなものだと思いますか？大学や実社会では問題に対して一つの正答があるとは必ずしも限りませんし、回答が複数あることも数多くあります。そのため、大学以降では問題の要点を理解・判断したうえで、自分が考えた意見を人に伝えたり、自分と異なる意見を持った相手とも関係を構築するなどといったコミュニケーションのための様々な能力が求められます。 この科目では、日本語の「読み」「書き」を中心に、プレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高め、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことをめざします。		
授業到達目標/Course goals	(1)与えられた情報の要点を理解し、要約することができる【本質理解】 (2)調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる【情報収集】 (3)正しい引用、注記方法を用いて論理的なレポートが書ける【計画立案力】 (4)人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる【役割理解】 (5)建設的かつ創造的に議論ができる【意見の調整・原因追究】 (6)ものの見方、考え方には多様性があることを理解する【課題発見力】 (7)自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる【メタ認知】		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、課題およびリフレクションペーパーの評価で行います。課題70点、リフレクションペーパー30点の合計100点での評価を行います。 また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上(リフレクションペーパーの提出) ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 (課題については、期限外の提出は認めません)		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークまたはグループ・ディスカッションをもとに学修を深め、理解を確かなものにするために、適宜復習とレポートの提出を求めます（１～２h）。
キーワード/Keywords	読解力、論理的思考、批判的思考、情報リテラシー、ライティング、ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件はありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業はすべて対面での実施となります。 全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では読み書きを中心としたコミュニケーション能力を実践的に育成していくため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション，ライティングの基礎を学ぶ
第2回	オリエンテーション，ライティングの基礎を学ぶ
第3回	論理的な表現とは，レポートの書き方を学ぶ
第4回	論理的な表現とは，レポートの書き方を学ぶ
第5回	コミュニケーションスキルについて学ぶ，ディスカッション・プレゼンテーションの基本
第6回	コミュニケーションスキルについて学ぶ，ディスカッション・プレゼンテーションの基本
第7回	論理的とは（１）
第8回	論理的とは（２）
第9回	思考力について学ぶ（１）
第10回	思考力について学ぶ（２）
第11回	思考力について学ぶ（３）
第12回	思考力について学ぶ（４）
第13回	思考力について学ぶ（５）
第14回	思考力について学ぶ（６）
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596001701	科目番号 / Course code	05960017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●ダイバーシティ社会における課題とその解決(総合科学科目) / Issues and Solutions in a Diversity Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢内 琴江, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢内 琴江		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢内 琴江, 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生、3年生、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yauchi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、を@に換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ダイバーシティ推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2889		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木 13:00 ~ 17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ダイバーシティ社会の実現に向けて、どのような課題があるのかを、ワークライフバランス、ジェンダー、アンコンシャスバイアス、ジェンダー・セクシュアリティ、多文化共生などのテーマを通して考え、自分のキャリア形成や、社会をつくる一人の主体としての自分の生き方・働き方の探究にいかす。		
授業到達目標/Course goals	自分の生き方・働き方のイメージを持つことができるようになる。自分のなりたい人物像を言葉にできるようになる。ダイバーシティ(多様性)やワークライフバランスの意味を理解して、自分の言葉で説明できるようになる。ダイバーシティの尊重や、ワークライフバランスを、自分の生き方や働き方に結び付けて考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	リフレクション・ペーパー(30%) + プレゼンテーション(20%) + レポート(50%) = 100点 ・リフレクション・ペーパーは、毎回の授業後に書いて提出してもらいます。 ・プレゼンテーションは、授業の最終回に課題を小グループで発表してもらいます。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	必要に応じて指示します。 事前学習：多様性という視点からは、自分の身の回りや、社会にはどのような問題があるのかを考えたり、多様な生き方や、働き方に関する情報(テレビ、インターネット、新聞記事、書籍など)に触れて、自分なりに考えること。 事後学習：講義の内容や、受講生の意見などをふり返り、自分なりに気づきを言葉にすること。		
キーワード/Keywords	ダイバーシティ、ワークライフバランス、ジェンダー、セクシュアリティ、多文化共生、キャリア		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2948 （E-mail）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面での実施とする 長崎大学ダイバーシティ推進センター https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/ 長崎大学あじさいプロジェクト http://nagasaki-ajisai.jp/about/medicalworkcenter
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当します、長崎大学ダイバーシティ推進センターの矢内琴江です。 これまでジェンダー・セクシュアリティと教育を専門にしてきました。私は、ダイバーシティ社会の実現において、一番大事なものは、一人ひとりが、「こんな自分でありたい」ということを実現できることだと思います。この授業では、身の回りや社会における様々な課題に気がついたり、様々な人たちの考えや経験に触れることを通して、どんな自分でありたいかを一緒に考えたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月12日）	オリエンテーション：ダイバーシティ社会と私（矢内琴江）
第2回（4月19日）	アンコンシャスバイアス（矢内琴江）
第3回（4月19日）	アンコンシャスバイアス（矢内琴江）
第4回（4月26日）	女性活躍推進とライフイベント（吉田ゆり）
第5回（4月26日）	女性活躍推進とライフイベント（吉田ゆり）
第6回（5月10日）	介護をしながら働くこと（井口茂）
第7回（5月10日）	介護をしながら働くこと（井口茂）
第8回（5月17日）	自分らしく生きる—ジェンダー・セクシュアリティの視点から考える（矢内琴江）
第9回（5月17日）	自分らしく生きる—ジェンダー・セクシュアリティの視点から考える（矢内琴江）
第10回（5月24日）	他者と共にゆたかに生きる—多文化共生の視点から考える（矢内琴江）
第11回（5月24日）	他者と共にゆたかに生きる—多文化共生の視点から考える（矢内琴江）
第12回（5月31日）	私なりの生き方・働き方を考える（矢内琴江）
第13回（5月31日）	私なりの生き方・働き方を考える（矢内琴江）
第14回（6月7日）	クロスセッション（小グループの中での課題のプレゼンとディスカッション）（矢内琴江）
第15回（6月7日）	ふりかえり（矢内琴江）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前 期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others
開講期間 / Course duration	2023/04/01-2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230596004701	科目番号 / Course code	05960047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●九州学(総合科学科目) 1単位科目 / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 選択科目, 総合科学科目, 全学モジュール 科目 / null		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	atada▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部 美術技術棟2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2907(内線2907)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	相談のある学生は、事前にメールでアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標 / Course goals	自身が興味を持った九州各県の「歴史・文化」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード / Keywords	九州		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材は全てLACSで提供します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 / Remarks	この授業はオンデマンド教材を活用してオンライン形式で実施します。 授業に関する指示は、LACSを通してお知らせします。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	夢田は、2018年1月24日に南蛮文化セミナーで「The Influence of Portugal on Nagasaki's Urban Development」を発表した経験がある。イエズ会によるキリスト教の布教下で、長崎の都市形成史を紹介できる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 集中講義で開講します。
第2回～第7回	トピックの中から、3つを選択して受講する。 九州大学 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(1) 九州帝国大学と戦前期九州の高等教育機関(2) 九州大学 九州の水稻農耕の始まりと古人骨1 九州の水稻農耕の始まりと古人骨2 佐賀大学 幕末の佐賀と学問ー明治維新への道ー1 幕末の佐賀と学問ー明治維新への道ー2 長崎大学 長崎のキリスト教 近世の長崎 宮崎大学 牧水の短歌によむ故郷宮崎の自然 牧水短歌の普遍性 宮崎大学 日向神話と神楽(1) 日向神話と神楽(2) 鹿児島大学 稲盛和夫氏の経営哲学(1) 稲盛和夫氏の経営哲学(2) 熊本大学 九州の戦国動乱と戦場の村々 江戸時代の熊本自信と熊本城 熊本大学 教科書に出てくる熊本の荘園 現代に息づく荘園の祭り 鹿屋体育大学 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(1) 現代に生きる薩摩の伝統的運動文化(2)
第8回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230596004801	科目番号 / Course code	05960048
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●九州学 (総合科学科目) 1単位科目 / Kyushu Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	埴田 彰秀 / Akihide Tada		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	原則1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	atada▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 理科・技術棟2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	相談のある学生は、事前にメールでアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自身が学生生活を営んでいる場がどのような背景を持つ土地であるのかを知るとともに、九州各県についても「歴史・文化」の視点から知識を得ることで、地域に対する魅力を探る。また、地域や世界の視点から「九州」について考えることで、「九州で九州を学ぶ」ことの意義を見出す。		
授業到達目標/Course goals	自身が興味を持った九州各県の「自然」の特徴や現状、課題について説明できる。 授業で取り上げた事物について、多角的に捉えて説明できる。 九州の魅力を様々な視点から考え、自己の考えを表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・小レポート25点×3回、最終レポート25点×1回 ・最終レポートを提出すること。 上記条件を満たし、合計100点のうち60点以上で合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでおくこと。(2h) 各時間に提示された課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード/Keywords	九州		
教科書・教材・参考書/Materials	教材は全てLACSで提供します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	前期に「九州学」を受講した学生も履修可能です。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	この授業はオンデマンド教材を活用してオンライン形式で実施します。 授業に関する指示は、LACSを通してお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	夢田は、2018年1月24日に天草市で開催された南蛮文化セミナーで「The Influence of Portugal on Nagasaki's Urban Development」を発表した経験がある。したがって、イエズ会によるキリスト教の布教下で、長崎の都市形成史を紹介できる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 集中講義(オンデマンド)で開講します。
第2回～第7回	トピックの中から、3つを選択して受講する。 九州大学 九州におけるシンクロトロン光利用研究(1) 九州におけるシンクロトロン光利用研究(2) 佐賀大学 有明海の環境(1) 有明海の環境(2) 大分大学 温泉学 - 大分の温泉 - (1) 温泉学 - 大分の温泉 - (2) 宮崎大学 南九州における魚・家畜の生産(1) 南九州のぶり類養殖とその環境 南九州における魚・家畜の生産(2) 粗飼料の自給と草地畜産 鹿児島大学 「九州の森林の生態系」回復と保全(1)～(5) 熊本大学 食の文化観光と伝統野菜の探訪 熊本の自然(植物編)と肥後の文化交流 熊本大学 肥後の温泉科学(1) 肥後は温泉天国 肥後の温泉科学(2) 体調に合わせた泉質選び 福岡教育大学 福岡県宗像・遠賀地域の絶滅危惧植物
第8回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230596004901	科目番号 / Course code	05960049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●行動分析学入門(総合科学科目) 1単位科目 / Introduction to Analysis of Behavior		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	【授業の概要】 2Q開講の選択科目「経験学習実践論」では、できたことノートのメソッドを活用して「できたこと」を内省(リフレクション)することによる行動変容の理論を学び実践してきた。 本科目では、「できたこと手帳」を使った自身の実践を題材として、リフレクションの質を追求し、人は行動変容に至るまでにどのような内省が有効なのか、科学的なアプローチにより探求する。 【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における選択科目である。		
授業到達目標 / Course goals	以下を座学と演習によって身につけることができます。 ・内省(リフレクション)を科学する5つの視点を理解することができる。 ・内省文の「詳細な事実」を、状況把握力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「原因の分析」を、論理的思考力と目的思考力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「本音の感情」を、感情知能力の視点で分析できるようになる。 ・内省文の「次なる行動」を、行動実践力の視点で分析できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート: 15点×5, 授業中課題: 5点×5の合計100点とし、60点以上を合格とする。ただし、最終レポートを提出しない場合、他課題の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】永谷研一『できたこと手帳』，クロスメディア・パブリッシング，2017年 ．ISDN：9784295401100 【参考書】永谷研一『月イチ10分できたことを振り返りなさい』，ダイヤモンド社，2018年 ．ISDN：9784478105221
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	【参考情報】 「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト：https://dekitakoto.jp/ 【授業の実施方法】 以下の（１）を原則とするが、状況により（２）もしくは（３）とする場合もある。実施方法に変更がある場合は別途指示する。 （１）対面授業（教室で直接対面しての授業） （２）リアルタイムのオンライン授業（Webの会議システムを使用した遠隔での授業） （３）オンデマンド授業（用意された動画や(1)(2)の記録を視聴する授業）
学生へのメッセージ/Message for students	本科目を履修するにあたっては、授業内容が選択科目「経験学習実践論」で習得した「できたことノートのメソッド」をベースとしているため、その単位を修得していることが望ましい。なお、初回授業にてこのメソッドの概要を講義するので、特に単位未修得者は自身で実践の上、授業に臨んでください。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとも重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月4日(水) 3校時	【ガイダンス】 担当：永谷 ・経験学習実践論の復習 ・この授業に臨むにあたって
10月11日(水) 3校時	【リフレクションを科学する5つの視点】 担当：永谷 ・状況把握力、論理的思考力、目的思考力、感情知能力、行動実践力とは
11月1日(水) 3校時	【内省文を状況把握力で分析する】 担当：永谷 ・「詳細な事実」を状況把握力の視点で分析して考察する
11月1日(水) 4校時	【内省文を論理的思考力、目的思考力で分析する】 担当：永谷 ・「原因の分析」を論理的思考力、目的思考力の視点で分析して考察する
11月8日(水) 3校時	【内省文を感情知能力で分析する】 担当：永谷 ・「本音の感情」を感情知能力の視点で分析して考察する
11月8日(水) 4校時	【内省文を行動実践力で分析する】 担当：永谷 ・「次なる行動」を行動実践力の視点で分析して考察する
11月22日(水) 3校時	【分析レポートを評価する】 担当：永谷 ・分析レポートに対して評価とフィードバックを行う

11月22日(水) 4校時

- 【全体の振り返り】 担当：永谷
- ・全体を通じて学んだこと（ワールドカフェ）
 - ・明日からの自分へのエールを（レポート記述）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230596005101	科目番号 / Course code	05960051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●行動分析学実践(総合科学科目) 1単位科目 / Practice to Analysis of Behavior		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	【授業の概要】 20開講の選択科目「経験学習実践論」では、自分でできたことノートを実践して、できたことを見つける技術、感情を観察する技術、内省により、新たな行動を見出す技術、自分軸を通じてありたい姿を見つける技術を学んだ。 コルブ(D.A Kolb)の経験学習理論のサイクルを自分で回せるようになった状態である。 本科目では、これらの技術を人に教える立場として、他者のできたことノートの実践を支援・助言するファシリテーション等の指導技術を習得することを目指す。 【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における選択科目です。		
授業到達目標 / Course goals	以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。 ・自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用し、教えられるようになる ・自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用し、教えられるようになる ・経験から学び行動分析する思考法として、論理的思考法と批判的思考法を活用し、教えられるようになる ・内省から見出した行動計画の実践法として、行動変容技術を活用し、教えられるようになる ・自分の軸を見出す技術として、ありたい姿抽出技術を活用し、教えられるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート: 15点×5, 授業中課題: 5点×5の合計100点とし, 60点以上を合格とする。ただし, 最終レポートを提出しない場合, 他課題の得点に関係なく, 不合格となることがあるので注意すること。 なお, 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に事前連絡すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】できたことノートforSchool, ファシリテーションガイド 【参考書】永谷研一『月イチ10分のできたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN: 9784478105221
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	【参考情報】 「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト: https://dekitakoto.jp/ 【授業の実施方法】 以下の(1)を原則とするが、状況により(2)もしくは(3)とする場合もある。実施方法に変更がある場合は別途指示する。 (1) 対面授業(教室で直接対面しての授業) (2) リアルタイムのオンライン授業(Webの会議システムを使用した遠隔での授業) (3) オンデマンド授業(用意された動画や(1)(2)の記録を視聴する授業)
学生へのメッセージ/Message for students	本科目を履修するにあたっては、授業内容が選択科目「経験学習実践論」で習得した「できたことノートのメソッド」をベースとしているため、その単位を修得していることが望ましい。なお、初回授業にてこのメソッドの概要を講義するので、特に単位未修得者は自身で実践の上、授業に臨んでください。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルティングおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとも重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
11月29日(水) 3校時	【ガイダンス & Day1体験】 担当: 永谷 ・経験学習実践論および「できたことノート」を理解する ・教材「できたことノート for School」の流れを理解する ・Day1「感情を見つめる。できたことを見つける。」を受講する
12月6日(水) 3校時	【Day2、Day3体験】 担当: 永谷 ・Day2「内省しよう。行動変容しよう。」を受講する ・Day3「ありがたい姿を見出す。」を受講する
12月20日(水) 3校時	【ファシリテーションの技術】 担当: 永谷 ・「安全な場づくり」について学ぶ ・「傾聴」について学ぶ
12月20日(水) 4校時	【Day1「感情を見つめる。できたことを見つける。」のファシリテーション】 担当: 永谷 ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する — 感情に着目させる方法, 数字に着目させる方法, - 相手に着目させる方法 ・グループ内で相互評価を行う

1月17日(水) 3校時	【ファシリテーションの技術】 担当：永谷 ・「問いかけ」について学ぶ ・「リフレーミング」について学ぶ ・「内発的な動機づけ」について学ぶ
1月17日(水) 4校時	【Day2「内省しよう。行動変容しよう。」のファシリテーション】 担当：永谷 ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する —「詳細な事実」「原因の分析」「本音の感情」「次なる行動」を記述させる方法 ・グループ内で相互評価を行う
1月31日(水) 3校時	Day3「ありたい姿を見出す。」のファシリテーション】 担当：永谷 ・以下を理解した上で、ファシリテーションを実践する — 瞑想の手法，自動思考の理論，不安から行動が起きる理論，目的思考を深めるための理論，自分軸でありたい姿を見出す方法 ・グループ内で相互評価を行う
1月31日(水) 4校時	【全体の振り返り】 担当：永谷 ・全体を通じて学んだこと（ワールドカフェ） ・明日からの自分へのエールを（レポート記述）

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596005301	科目番号 / Course code	05960053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●産学連携プロジェクト(総合科学科目) / Industry-University Collaboration Project		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白井 章詞		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白井 章詞		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白井 章詞		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	履修定員は10名です。履修希望者が履修定員を大幅に上回った場合には、抽選になる可能性があります。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shirai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部6F616号室		
担当教員TEL/Tel	別途お伝えします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日、水曜日(事前にメールでご連絡下さい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多文化社会学部での学びを通して芽生えた社会に対する疑問や問題意識について、自ら調べ、その結果を大手情報サイトを通して広く発信していく。本講義では大手情報サイトの全面的な協力のもと、参加学生は同社の編集会議で企画の採択を目指す。採択後は、各自が設定したテーマに沿って調査・執筆活動を行い、脱稿を目指す。毎週の授業は、同社の幹部社員を交えた企画会議と位置づけ、活動報告を行う。サイトに原稿がアップされた後は、読者からの感想を参考に自身の「仕事」の振り返りを行う。		
授業到達目標/Course goals	大学での学びと実社会で必要とされる能力とのつながりを理解する。 仕事におけるPDCAサイクルを身につけられる。 仕事および情報発信に対する責任感を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組みを総合的にみて判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】翌週で扱うテーマを提示するのでそれについてネットなどを使って調べる。(2h) 【復習】授業後は授業内容に関連する復習問題を毎回示すのでその問題にそって復習する。(2h)		
キーワード/Keywords	キャリア、キャリアデザイン、職業能力、論理的思考力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内に指示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	日経BP社との産学連携プロジェクトになります。学生はライターとなって記事を作成し、日経BP社が運営する日経ビジネスオンラインに投稿します。記事の完成には個人差があり、授業期間中に脱稿できなかった場合には、授業終了後も継続的にフォローします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	白井章詞 / 民間企業における人事業務 / 日系企業、外資系企業における人的資源管理の特徴と違いを事例を交えながら解説
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	本授業の趣旨説明
2	企画の練り方
3	企画会議 1
4	取材の基礎
5	企画会議 2
6	企画会議 3
7	企画会議 4
8	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596006901	科目番号 / Course code	05960069
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●情報通信とコンピュータネットワーク(総合科学科目) / Telecommunications and Computer Networks		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / 電子メールによる質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	コンピュータ・ネットワークの要素技術や規格・仕様・プロトコル等を知ることにより、コンピュータシステムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか、どのような工夫がなされているか、また、どのような性能や信頼性のもとに稼働しているかを理解する。また、「長崎」の通信の歴史におけるかわり、離島・へき地等を含むさまざまな環境における情報通信について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	各回の内容に示す項目について理解し、他者に説明できるようになることを目標とする。 たとえば、本県のような離島・へき地を有する地域の通信環境に関する現況を説明でき、関わる政策について、自分なりの考えで論ずることができる。 また、身近にあるデバイスについて、仕様や通信状況等を認識し、トラブルの現状把握と対処ができるようになる。 なお、本講義の直接の目標ではないが、ITパスポートや基本情報技術者試験のテクノロジー系科目の問題が解けるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題・レポート計50点、小テスト・定期試験計35点、講義中の積極的な取組状況計15点を基礎として総合的に評価し、100点満点のうち60点以上を合格とする。 課された課題を期限までに提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は担当教員に連絡し、欠席届を提出すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の授業後、授業で学んだことをノートとしてまとめた上で、教員の指定することから・キーワードについて、一定の限られた文字数(令和4年度の例では300字から400字の範囲)で整理・説明し提出する(3.5h)。また、授業で習った内容をもとに、教員が指定した項目や所有するデバイスに関して、授業時間外に調べる課題を課す(0.5h)。		

キーワード/Keywords	情報通信, コンピュータネットワーク, コンピュータシステム, プロトコル, 信頼性, 長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	授業資料等についてはLACSに掲載する。ただし穴あきテキストなので、各自でノートを取り、完成したテキストとしてまとめることが必要。参考となる図書, Webページ等は随時紹介する。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則です。必携PCを全ての回で使用します。対面授業の際は毎回教室に持参すること。授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。準備・持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートPCを使用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	本科目は（本シラバス入力時点では）原則対面授業で実施予定です。 担当教員からの通知は、LACSの「連絡事項」で行います。 https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	いつも何気なく利用しているさまざまなネットワーク・デバイスに関して、どのような技術が用いられ、工夫がなされているかがわかります。これらの工夫については、決して複雑なものではなく、単純なしくみでできているものが多くあります。これらは、そのシステムでのみ有効というものだけではなく、普段の生活の中でも応用できるものがあります。発想の転換のヒントになります。 「正解」とはなんなのでしょうか。辞書に書いてあることは確かに正解例の一つかも知れませんが、世の中は、多様な立場や、価値観・考えをもつ人がいます。利害関係が絡んでいることも少なくありません。社会の中では、どこかで落とし所を見つけて解を出すことが必要になることもあります。本科目では、受講者のみなさんの考えを出し合い共有するなどして、多くの考えに触れてもらいます。 なお、社会状況（COVID-19の影響を含む）や理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序、授業実施方法の変更等を行うことがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	【ガイダンス】 ・通信とは ・情報の伝送 ・有線通信と無線通信 - 電波が与える影響, 無線通信に関する規制・制限 - 通信の歴史 - 「長崎」の通信の歴史におけるかわり 【通信の形態】を理解する - 一対一と一対多 - 通信と放送 - 全二重と半二重 - 上りと下り
第3-4回	【電磁波の性質】を理解する ・電波の周波数とその特性 - 電磁波と電波 - 周波数と波長 - アンテナ - 周波数帯と特性, 使われ方 - 無線LANの種類と特性, 使い分け - デジタル化による電波の再利用 - 携帯電話における新たな技術 - 各自の所有端末が使用する周波数帯を調べる

第5-6回	【インタフェースとコネクタ】を理解する ・インタフェースとコネクタ - インタフェースとは - インタフェースを通じて送られるもの - コネクタの役割 - 医用コンセント，医用接地 - インタフェースやコネクタ，通信伝送路に求められること ・コンピュータや家電製品の外部インタフェース - 衛星4K・8K放送を視聴するために必要なもの - 各自の端末のインタフェースを理解する ・コンピュータのデータ転送用インタフェース - シリアル伝送とパラレル伝送 - 接続のトポロジ - 有線LANの規格と通信ケーブルの品質 - 無線LANの規格
第7-8回	【通信回線の構造】を理解する ・回線の種類と交換方式 - 回線交換 - 長崎県の電話交換の歴史 - 電話を「かける」とは - 専用回線と公衆回線 - パケット交換 - PSTNの終焉 ・多重化 【ネットワークアーキテクチャ】を理解する ・プロトコルと階層 - プロトコルとは - 階層構造の意味 - OSI基本参照モデル - Internet Protocol Suite ・コンピュータ通信の具体例を見る - Webや電子メールのやりとりを例に
第9-10回	【ネットワーク（第1層～第2層）】を理解する ・網トポロジ ・アクセス制御方式 - 衝突検知 ・イーサネット ・MACアドレス ・MACアドレスをトレースすると ・ネットワークを構成する装置（第1層～第3層） - コリジョンドメインとブロードキャストドメイン 【ルーティング（第3層）】を理解する ・インターネット - Internet Protocol
第11-12回	【電話の公共性，離島・へき地における通信の現状】を理解する ・電話の公共性 - 番号計画 - 通話料金と単位料金区域 - ユニバーサルサービス - 離島特例，離島特例に見る長崎県の地域と交流関係 - 離島・へき地における通話・通信環境 【ルーティング（第3層）】を理解する ・IPアドレス - IPv4とその割り当て - サブネットティング ・IPv4アドレスの枯渇とその対策 - IPv6 - グローバルアドレスとプライベートアドレス - アドレス変換 ・ルーティング - ARP - 経路情報とルーティング - 電話のネットワークにおけるルーティング ・DHCP

第13-14回	【ネットワーク・通信の信頼性〔第4層〕】を理解する ・通信の信頼性 - コネクション型とコネクションレス型 - ポート番号 【誤り検出・誤り訂正】を理解する ・誤り検出・誤り訂正 - 正しく伝える工夫 - 誤りに対する耐性 - パリティチェック，CRC，チェックディジット ・暗号化と電子署名 【アプリケーション〔第5層～第7層〕】を理解する ・Domain Name System - ホスト名とドメイン - ナンバーポータビリティ - 名前解決に見るインターネットの信頼性 ・アプリケーションのふるまい〔第4層～第7層〕を理解する - Webアクセスや電子メールを例に ・ネットワークセキュリティ - ファイアウォール，パケットフィルタ，アプリケーションゲートウェイ - 守られる範囲 - 無線LANのセキュリティ
第15回	【コンピュータシステムの構成と信頼性】を理解する ・コンピュータシステムの処理形態 - 集中処理と分散処理 - サーバ・クライアントモデル - クラスタ - クラウド ・コンピュータシステムの信頼性 - 冗長化 - 信頼性の評価指標 - 故障曲線 - 信頼性を高める工夫 - フォールトトレラント ・記憶の信頼性 - コンピュータの5大装置 - 半導体メモリの種類 - 補助記憶装置の種類 - USBメモリやディスクの記憶の信頼性 - データのバックアップ
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007101	科目番号 / Course code	05960071
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●AIプログラミング入門(総合科学科目) / Introduction to AI Programming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45, オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学年 (ただし、モジュール 科目で「プログラミング入門」を修得した者は除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga▲ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3校時(12:50~14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、プログラミング的な思考力を養うことである。本授業では、プログラミング言語としてPythonを取り上げ、プログラミングの基礎やアルゴリズムについて学ぶ、Pythonを用いた画像認識AIの作成にも挑戦する。		
授業到達目標/Course goals	・Pythonの基本的な文法を理解する。 ・簡単なアルゴリズムに基づきプログラムを作成できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プログラミング □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト：70% , 最終課題：30% , を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【第1-2回】予習：特になし、復習：プログラミング環境の準備を完了させる(8時間) 【第3~14回】予習：指定された内容の学習(各回4時間)、復習：プログラムの作成(各回4時間) 【第15回】予習：プレゼン資料の作成(4時間)		
キーワード/Keywords	プログラミング, アルゴリズム, AI(人工知能)		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はリアルタイムオンライン形式で実施します。 受講方法の詳細については、LACS 内で説明していますので、授業前に必ず確認してください。
学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを持参してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / プログラミング環境の準備 / プログラミングの基礎
第2回	ガイダンス / プログラミング環境の準備 / プログラミングの基礎
第3回	Python入門
第4回	Python入門
第5回	アルゴリズム入門
第6回	アルゴリズム入門
第7回	AI入門
第8回	AI入門
第9回	画像認識AIの作成(1)
第10回	画像認識AIの作成(1)
第11回	画像認識AIの作成(2)
第12回	画像認識AIの作成(2)
第13回	画像認識AIの作成(3)
第14回	画像認識AIの作成(3)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2023/11/28 ~ 2024/02/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007102	科目番号 / Course code	05960071
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●AIプログラミング入門(総合科学科目) / Introduction to AI Programming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45, オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学年 (ただし、モジュール 科目で「プログラミング入門」を修得した者は除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga▲ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3校時(12:50 ~ 14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、プログラミング的な思考力を養うことである。本授業では、プログラミング言語としてPythonを取り上げ、プログラミングの基礎やアルゴリズムについて学ぶ、Pythonを用いた画像認識AIの作成にも挑戦する。		
授業到達目標/Course goals	・Pythonの基本的な文法を理解する。 ・簡単なアルゴリズムに基づきプログラムを作成できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プログラミング □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト：70% , 最終課題：30% , を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【第1-2回】予習：特になし、復習：プログラミング環境の準備を完了させる(8時間) 【第3~14回】予習：指定された内容の学習(各回4時間)、復習：プログラムの作成(各回4時間) 【第15回】予習：プレゼン資料の作成(4時間)		
キーワード/Keywords	プログラミング, アルゴリズム, AI(人工知能)		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業はリアルタイムオンライン形式で実施します。 受講方法の詳細については、LACS 内で説明していますので、授業前に必ず確認してください。
学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを持参してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / プログラミング環境の準備 / プログラミングの基礎
第2回	ガイダンス / プログラミング環境の準備 / プログラミングの基礎
第3回	Python入門
第4回	Python入門
第5回	アルゴリズム入門
第6回	アルゴリズム入門
第7回	AI入門
第8回	AI入門
第9回	画像認識AIの作成(1)
第10回	画像認識AIの作成(1)
第11回	画像認識AIの作成(2)
第12回	画像認識AIの作成(2)
第13回	画像認識AIの作成(3)
第14回	画像認識AIの作成(3)
第15回	まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007301	科目番号 / Course code	05960073
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●アントレ実践入門(1)課題発見・システム思考入門(総合科学科目) / Practical Introduction to Entrepreneurship I: Problem Discovery and Systems Thinking		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 唯		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimura@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 西村宣彦) yui.h@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 原口唯) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。▲を@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3) 経済学部本館6階605室(西村研究室)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業内容に関する質問等は、原則として授業実施日の授業前後の時間帯に受け付けます。別途面談等を希望する場合は、担当教員宛にメールで事前にアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、課題発見やシステム思考の基礎を学習します。変化が激しく不確実性が高い現代では、解決すべき課題を発見し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み新しい価値創造にチャレンジできる人材が必要とされています。課題発見を行うには、自分自身と対峙し、「自分らしさ」を探索し、自己理解を深めた上で自らと社会の関係性に目を向け社会に対してのアクションを考える必要があります。本授業では、商店街の方へのインタビュー調査やグループワーク、自己探索などを通して課題発見とシステム思考について学習します。第2Q、第3Qのアントレプレナーシップ実践科目(2)、(3)と連続して受講することによって新しいビジネスの創り方を実践を含めて修得できるので、(1)~(3)を継続して履修することを強く推奨します。		
授業到達目標/Course goals	・自分自身と対峙し「自分らしさ」を探索し、自己理解を深めた上で、自らと社会との関係性に目を向け、社会に対してどのようなアクションをしたらよいのか、アイデアを創出することができるようになる。 ・国際(グローバル)、社会(ソーシャル)、地域(ローカル)、技術(テクノロジー)、SDGsなどの多面的な視野・視座・視点を持って様々な課題を捉え、それを解決するため新しい価値創造にチャレンジすることができるマインドセット(アントレプレナーシップ)とはどのようなものかを知り、それに必要となる基礎的なスキルを理解し、自立心を持って第一歩を踏み出せるようになる。 ・本授業では、長崎市内の住吉商店街をフィールドとし、そこで商業を営む事業者や商店街関係者との講義や彼らとの対話を通じて、「アントレプレナーシップ」とは何かを知り、自分自身のキャリアにおいて「アントレプレナーシップ」を身につける意義と重要性を学ぶことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況（発言、質問等）30点、授業毎に実施するオンデマンド教材の理解度確認小テスト30点、チームプレゼンテーション40点、合計100点として教員が総合的に評価する（60点以上を合格とする）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる概念・手法に関する動画資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること（2h）。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、起業家精神、自己理解、地域活性化、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、プラネタリーヘルス、地域創生、アイデア創出、組織、チーム
教科書・教材・参考書/Materials	授業前または授業後において動画資料、PDF資料等を配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレ実践入門(2)アイデア創出・デザイン思考入門」(2Q)、「アントレ実践入門(3)事業創造・スタートアップ入門」(3Q)を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	全て対面において実施する。 http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	文教キャンパスのそばにある住吉商店街に入って、商店街の店主さんと共同で、商店街の活性化に取り組みます。この講義では課題発見を、つぎの（２）では課題解決のためのビジネスモデル開発を、（３）ではそのビジネスアイディアの実証を実践的に行います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 住吉商店街のこれまで、今、そしてこれから 対面 担当：原口・西村
第2回	自己分析（１） 対面 担当：原口・西村
第3回	自己分析（２） 対面 担当：原口・西村
第4回	自己分析（３） 対面 担当：原口・西村

第5回	コミュニケーション（傾聴・発話） 対面 担当：原口・西村
第6回	グループワーク・ファシリテーション 対面 担当：原口・西村
第7回	商店街振興に関する情報収集計画立案 対面 担当：原口・西村
第8回	情報収集 対面（住吉商店街や図書館などでのフィールドワーク） 担当：原口・西村
第9回	情報収集結果の分析・KJ法（１） 対面 担当：原口・西村
第10回目	情報収集結果の分析・KJ法（２）/インタビュー調査の準備 対面 担当：原口・西村
第11回目	現場観察・インタビュー調査 対面（住吉商店街など） 担当：原口・西村
第12回目	現場観察・インタビュー調査結果の分析 対面 担当：原口・西村
第13回目	商店街のステークホルダーとの課題発見ワークショップ 対面 担当：原口・西村
第14回目	商店街のステークホルダーとの課題解決アイデア発掘ワークショップ 対面 担当：原口・西村
第15回目	授業の振り返り 対面 担当：原口・西村

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/06/12 ~ 2023/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007501	科目番号 / Course code	05960075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●アントレ実践入門(2)アイデア創出・デザイン思考入門(総合科学科目) / Practical Introduction to Entrepreneurship II: Idea Generation and Design Thinking		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 原口 唯		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 原口 唯		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimra@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 西村宣彦) yui.h.nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 原口唯) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。▲を@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業内容に関する質問等は、原則として授業実施日の授業前後の時間帯に受け付けます。別途面談等を希望する場合は、担当教員宛にメールで事前にアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、「ビジネスモデルの設計」、「ペルソナ」や「デザイン思考」などを学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら課題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では、「ペルソナ設定」として、顧客の定義やアンケート調査の方法について学びます。そして顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手段である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業は商店街をケース及びフィールドとしており『アントレ実践入門 課題発見・システム思考入門』を受講済みであることを想定していますので、アントレ実践入門 ~ を継続して受講することを推奨します。		
授業到達目標/Course goals	・いい問いは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について習得できる。 ・アイデアを創出する技術(創造技法)として、問題発見, アイデア発想, アイデア発展に関する基礎的手法を習得できる。 ・顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法であるデザイン思考のプロセス(共感・理解・定義・アイデア創出・プロトタイプ・テスト)について習得できる。 ・アイデア創出手法や問題解決手法を習得することにより、自身や社会の問題・課題に対して新しい選択枝や解決手段を創り出せるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	luation 授業への出席状況および授業への参加状況(発言、質問等)30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる概念・手法に関する動画資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、起業家精神、自己理解、地域活性化、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、プラネタリーヘルス、地域創生、アイデア創出、組織、チーム
教科書・教材・参考書/Materials	授業前または授業後において動画資料、PDF資料等を配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件(履修条件)は、アントレ実践入門(1)課題発見・システム思考入門(総合科学科目)を履修していることが望ましい。(当該授業を履修している前提で授業を実施する。)なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、「アントレ実践入門(3)事業創造・スタートアップ入門」(3Q)を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	全て対面において実施する http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 対面 担当: 西村・原口
第2回	テーマの決定・チームビルディング 対面 担当: 西村・原口
第3回	プロジェクトマネジメント: ラピッドプロトタイピング方法の検討 対面 担当: 西村・原口
第4回	プロトタイピングプロジェクト実施計画書作成 対面 担当: 西村・原口
第5回	ベンチマーキング 対面 担当: 西村・原口
第6回	ベンチマーク結果のプロジェクトへの反映 対面 担当: 西村・原口
第7回	プロトタイピング準備(1) 対面 担当: 西村・原口

第8回	プロトタイピング準備（２） 対面 担当：西村・原口
第9回	プロトタイピング準備（３） 対面 担当：西村・原口
第10回	プロトタイピング準備（４） 対面 担当：西村・原口
第11回	ビジネスモデル実証プロトタイピング 対面 担当：西村・原口
第12回	ビジネスモデル実証プロトタイピング 対面 担当：西村・原口
第13回	プロトタイピングの振り返りと、ビジネス提案書のブラッシュアップ 対面 担当：西村・原口
第14回	最終報告会 対面 担当：西村・原口
第15回	活動の振り返り 対面 担当：西村・原口

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007701	科目番号 / Course code	05960077
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●アントレ実践入門(3)事業創造・スタートアップ入門(総合科学科目) / Practical Introduction to Entrepreneurship III:Business Prototyping and Startup		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 唯		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Undergraduate students of all faculties		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimura@nagasaki-u.ac.jp (Prof. Nobuhiko Nishimura) yui.h@nagasaki-u.ac.jp(Ass.Prof Yui Haraguchi)		
担当教員研究室/Office	FFG Entrepreneurship center at 1st floor in No.2 building of faculty of engineering		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (Office)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Principally times before and after the class is available for inquiries. If you need to contact teachers outside of these hours, inform the teachers by email for an		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	In this lecture, you will learn practically how to create innovation through design thinking. Especially you will learn the prototyping of the start-up business. During the class you will have a series of activity to demonstrate your business idea with your team members at SUMITOSHI-NAKAZONO shopping street near the campus. Through the activities you will learn the start-up of business practically		
授業到達目標/Course goals	- You can learn about the skills, knowledge, and mindset necessary to create new value. - You can get the basic knowledge on what a startup is, how an innovative teams work, how the project is managed through practical project. - You can create prototypes for startups and perform a business in Sumiyoshi shopping street in Nagasaki City as a field.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	50 points for class attendance and participation. 20 points for online test on LACS. 30 points for the final presentation.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Before each class you need to watch animation video on LACS to understand the class. At the beginning of the class you will take an online test on the content provided in the animation video. You may need to implement the tasks decided by the team for the team's prototyping.		
キーワード/Keywords	Entrepreneur, Entrepreneurship, Revitalization of the local area, Innovation, Prototyping, Business model, Startups, Project Management		
教科書・教材・参考書/Materials			

受講要件（履修条件）/Prerequisites	None. You need a team activity with 4 to 8 students.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	You can do a business at Sumiyoshi shop street with your team to demonstrate your team's business idea at a shop space with an team budget. Let's revitalize the shopping street with your idea and power.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	Nobuhiko Nishimura: business creation and implement on electric power plants Yui Haraguchi: A startup owner of the social business
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1/October 4, 4:10-7:20	team building
2/October 11, 4:10-7:20	rapid prototyping and project management
3/October 18, 4:10-7:20	bench mark
4/October 25, 4:10-7:20	prototyping at the site
5/November 1, 4:10-7:20	prototyping at the site
6/November 8, 4:10-7:20	prototyping at the site
7/November 15, 4:10-7:20	preparing the presentation
8/November 22, 4:10-5:40	team presentation to the shop owners at the Sumiyoshi Nakazono shop street

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2023/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20230596007701	科目番号 / Course code	05960077
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●アントレ実践入門(3)事業創造・スタートアップ入門(総合科学科目) / Practical Introduction to Entrepreneurship III: Business Prototyping and Startup		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 唯		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 唯, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimura@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 西村宣彦) yui.h.nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 原口唯) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。▲を@に置き換えて送信してください。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務局: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業内容に関する質問等は、原則として授業実施日の授業前後の時間帯に受け付けます。別途面談等を希望する場合は、担当教員宛にメールで事前にアポイントを取って下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキルを実際のプロジェクト運営を通して学習します。文教キャンパス周辺の商店街などで実際に企画を実施し、「プロジェクトマネジメント」、「ラビッドプロトタイピング」、「企画書の作成」などのテーマについて学びます。なお、本授業は『アントレ実践入門 課題発見・システム思考入門』及び『アントレ実践入門 アイデア創出・デザイン思考入門』を受講済みであることを想定しています。		
授業到達目標/Course goals	・社会に新しい価値を創造するために必要なスキル、知識、マインドセットとは何かについて習得できる。 ・スタートアップとは何か、社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とはどのようなものか、スタートアップに必要なチームとはどのようなものか、ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか、ビジネスモデルやビジネスプランを構築するにはどうすればよいか、などのテーマについて基礎知識を習得することができる。 ・長崎市住吉商店街をフィールドとしたスタートアップ・事業創造に関するプロトタイプの実験ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況(発言、質問等)30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる概念・手法に関する動画資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、起業家精神、自己理解、地域活性化、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、プラネタリーヘルス、地域創生、アイデア創出、組織、チーム
教科書・教材・参考書/Materials	授業前または授業後において動画資料、PDF資料等を配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件(履修条件)は、アントレ実践入門(1)課題発見・システム思考入門(総合科学科目)およびアントレ実践入門(2)アイデア創出・デザイン思考入門を履修していることが望ましい。(当該授業を履修している前提で授業を実施する。)
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面での実施となります。 http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・オリエンテーション 対面 担当：原口・西村
第2回	テーマの決定・チームるディング 対面 担当：原口・西村
第3回	企画を実証するラビッドプロトタイピング方法の検討 対面 担当：原口・西村
第4回	プロジェクト企画書の作成 対面 担当：原口・西村
第5回	ベンチマーク 対面 担当：原口・西村
第6回	ベンチマーク結果の企画への反映 対面 担当：原口・西村
第7回	プロトタイピング準備(1) 対面・または住吉商店街で活動 担当：原口・西村
第8回	プロトタイピング準備(2) 対面または住吉商店街で活動 担当：原口・西村

第9回	プロトタイピング準備（３） 対面または住吉商店街で活動 担当：原口・西村
第10回	プロトタイピング準備（４） 対面または住吉商店街で活動 担当：原口・西村
第11回	プロトタイピング 住吉商店街 担当：原口・西村
第12回	プロトタイピング 住吉商店街 担当：原口・西村
第13回	プロトタイピング結果の振り返り 対面 担当：原口・西村
第14回	最終報告会資料作成 対面 担当：原口・西村
第15回	最終報告会 対面 担当：原口・西村